

学校開放管理システム再構築業務委託 質問回答

No.	資料名	章・項目名	頁番号	質問内容	回答
1	調達仕様書	2.2.	5	システム切替要件「利用者種別は次期システム導入時に変更を予定している」とある一方、「現行システムにて使用しているID・パスワードを使用して次期システムを使用できること。ただし、一定期間後までに次期システムにて新規登録しなかった場合は、次期システムを使用できなくなる等の制限をかけることができること」と記載がございます。これは、現行のIDを更新手続きして使用するのではなく、現行のIDは移行するが一定期間を経た後にすべて廃止とするため、新たに申し込まれた情報で別IDを発行する、という理解でよろしいでしょうか。	調達仕様書P.22 (3.1.9. (3) エ) IDの引継ぎ及びパスワードの再発行にあるように、現行システムで利用しているID・パスワードについては継続して利用することを想定しています。ただし、パスワードについては推測困難性を高めた上で再発行することを求めており、再発行されたパスワードでのログインや認証(=次期システムにて新規登録)をしなかった場合についてのみ、次期システムの使用制限等の措置を行うことを想定しています。
2	調達仕様書	3.1.2.	9	管理者PCの仕様について、端末についてはデスクトップ/ノートのいずれでもよろしいでしょうか。	執務室内のスペースの都合上、ノートパソコンを希望します。 参考までに、現在使用している管理者端末の仕様は以下のとおりです。 HP社 ProBook 450 G3 Notebook PC
3	調達仕様書	3.1.2.	9	運用保守の期間について、仕様書5ページに記載の「本業務はシステム構築および令和7年3月末までの運用保守を委託するものである」との記載がございます。本システムは令和7年3月の稼働開始と認識しておりますが、ここでいう運用保守とはどのような内容でしょうか。	調達仕様書P.5 2.1.導入スケジュール及び開発期間に記載のあるとおり、次期システムは令和7年3月中旬から稼働開始とするため、令和7年3月中旬から3月末までの期間のシステム運用保守を想定しています。
4	調達仕様書	3.1.4.	9	ネットワーク整備要件にて、現行ネットワーク構成が記載されておりますが、クラウド環境との接続コスト算出のため、現行でお使い頂いているVPNの種類やサービス名等をご教示いただけますでしょうか。	現行システムでは以下のサービスを利用しています。 NTT東日本「フレッツVPNワイド」 サービスURL： https://business.ntt-east.co.jp/service/vpnwide/
5	調達仕様書	3.1.4.	9	ネットワーク整備要件にて、「現行のネットワーク（VPN網）について、次期システムでも使用可能である」と記載されておりますが、より安価に提案ができる場合、別のVPNサービスへの乗り換えをご提案しても問題ありませんでしょうか。またその場合、IPsecによるインターネットVPNのご提案を検討しておりますが、閉域網のご指定などはありますでしょうか。	要件を満たしている場合、より安価な別サービスを利用するご提案でも差し支えありません。ただし、現行のVPNサービスと同等のセキュリティを確保してください。
6	調達仕様書	3.1.4.図2	10	ONUについて、仕様書10ページ図2の「主管課執務室」について、ONU・ルーターの記載がございますが、VPN接続口については発注課様にてご準備いただける想定でよろしいでしょうか。	ご認識のとおりです。

No.	資料名	章・項目名	頁番号	質問内容	回答
7	調達仕様書	3.1.4.図2	10	「自動監視サービス」について、次期システムにおいてもファイアウォール監視が必要でしょうか。必要になる場合は、サービスの内容の詳細についてご教示ください。	調達仕様書P.13 3.1.6.(1) セキュリティ対策及び表7 セキュリティ要件に記載のあるとおり、「庁内外からの不正な接続及び侵入、行政情報資産の漏えい、改ざん、消去、破壊、不正利用等を防止するための対策を十分に講じること」としています。上記対策として必要なサービスをご提案ください。
8	調達仕様書	3.1.6.(1)	14	表7の要素「完全性－不正侵入・不正利用の防止」において、「IPSやリバースプロキシサーバ等の導入を行うこと」とありますが、口座情報等の機密情報を扱うイントラネット系へのアクセスを主管課の管理者端末からのみアクセス可能のように構成することができればリバースプロキシの導入は必須ではないという理解で宜しいでしょうか。	ご認識のとおり、イントラネット系へのアクセスについて、十分な対策を講じることが出来る場合はリバースプロキシサーバの導入は必須ではありません。ただし、調達仕様書P.5 (3.1.5.)に記載のあるとおり、インターネット系についても「大量のアクセスやプログラムによる自動予約ツール等に対しても、対策を講じたシステムを構築すること」としておりますので、ご留意ください。
9	調達仕様書	3.1.9.(2)エ	20	仕様書20ページに記載の「(2)エ テスト環境」は、17ページ表10に記載の「検証環境」と同一でしょうか。	調達仕様書P.18 3.1.9.(2) テスト要求仕様及びイ 基本方針に記載のあるとおり、テスト環境は各種テストの実施にあたって適切な環境であることを求めます。検証環境がテスト要求仕様を満たす環境である場合は、同一の環境で差し支えありません。
10	調達仕様書	3.1.9.(3)	20	システム移行要求仕様 ア「データ移行方法」にて、「※移行データの名寄せは本市職員が行う」とありますが、名寄せいただいたデータを新システムに移行するとして、受託者による移行後の名寄せ作業は考慮しなくて良いでしょうか。	ご認識のとおり、名寄せ作業は本市職員が主体となって実施いたしますが、必要に応じて受託者の助言等を求めます。
11	調達仕様書	3.1.9.(4)	22	操作研修のスケジュールについて、仕様書22ページの表14に、研修の方法についての記載がありますが、対面研修で使用するパソコンの必要台数が明記されていないため、ご教示ください。	表15 研修実施手法に記載のとおり、ご提案いただく研修形式によって必要となる台数が異なるため、ご提案いただく研修形式と合わせて研修用端末をご準備ください。
12	調達仕様書	3.1.9.(4)表14	22	研修実施期間中及び研修期間後についても、研修用端末を発注課様にて保管いただくことは可能でしょうか。	研修用端末は、事業者様にて保管をお願いします。
13	調達仕様書	3.2.5.(4)	30	サブドメイン使用の要求事項が記載されておりますが、新システム用に作成するサブドメインのゾーン管理もデジタル統括本部DX基盤課様にて運用されているDNSサーバーにて行う予定でしょうか。新システム用サブドメインは受託者が提供するDNSサーバーに委任するご予定であればその旨ご教示ください。	サブドメインに係る設定につきましては、原則、デジタル統括本部DX基盤課が管理するDNSサーバーにて管理します。ただし、システムの都合により委任が必要な場合には、委任をすることも可能です。

No.	資料名	章・項目名	頁番号	質問内容	回答
14	調達仕様書	4.2.2.	31	表23にて定義されている「定例運用報告書」のレビュータイミングが空欄となっております。定例運用報告書の作成頻度をご教示ください。	月1回程度を想定しています。
15	仕様書別紙3_ハードウェア構成	■その他機器構成	1	「■その他機器構成」に記載のある外付けディスクはどのような用途かご教示ください。	サーバのデータのバックアップのために使用するものです。現行システムでは、サーバーに故障が発生した場合に備えて、外付けディスクにもデータを保存しています。
16	仕様書別紙3_ハードウェア構成	■その他機器構成	1	「■その他機器構成」に記載のあるApple社製PC4台はどのような用途かご教示ください。	HP社 ProBook 450 G3 Notebook PCについては、管理者端末として使用するものです。(1台をメインで使用、3台は予備機)
17	仕様書別紙3_ハードウェア構成	■その他機器構成	1	プリンタについて、サイズや仕様についてのご要望がありましたらご教示ください。なお、プリンタに係る消耗品については、本調達の対象外という認識で相違ないでしょうか。	現在使用している製品と同等の仕様を希望します(RICOH SP 3610)。執務室のスペースの都合上コンパクトなもの、手差し印刷ができるものを希望します。ご認識のとおり、プリンタに係る消耗品は本調達対象外です。
18	仕様書別紙5-1_機能要件(利用者向け)	1.1.8.	1	利用者情報の照会・変更にて、「登録した利用者情報を参照・修正できること」とありますが、利用者自身が名前や住所等、登録されたすべての情報を修正可能とする、という理解でよろしいでしょうか。	利用者の団体名・住所・連絡先等の修正は、利用者自身で可能としますが、利用者種別等、一部情報の修正には制限をかける想定です。
19	仕様書別紙5-1_機能要件(利用者向け)	1.1.11.	1	有効期限の更新にて、「有効期限を知らせるメールを自動で配信できること」とありますが、メールが自動配信される時期は想定されておりますでしょうか。また、配信頻度は一回でよろしいでしょうか。	メールの自動配信時期及び回数は特に想定していません。時期も含めてご提案をお願いいたします。
20	仕様書別紙5-1_機能要件(利用者向け)	1.1.11. 1.1.12.	1	有効期限の更新の留意事項にて、「有効期限は最終ログイン日時から3年間」とありますが、「その期間が終了する日付を有効期限とする」とありますが、有効期限は月単位等ではなく、日単位で計算を行う、という理解でよろしいでしょうか。	ご認識のとおり、有効期限は日単位で計算を行ってください。
21	仕様書別紙5-1_機能要件(利用者向け)	3.1.8.	3	画像認証コードの入力について、一枚絵の中で正しい箇所を選択させる「キャプチャ認証」でのご提案でも同等機能とみなしていただけますでしょうか。	人間による操作・入力であることが確認できる機能であれば、どのような認証方法でも差し支えありません。
22	仕様書別紙5-1_機能要件(利用者向け)	5.1.5.	4	ロック解除について、利用者がログインロックされたしまった場合に、自らの意志でパスワードロックの解除ができるようにしたい、というご要望でしょうか。機能に矛盾があると考えますので、詳細についてご教示ください。	パスワードロックについては、パスワード再発行と同様の機能を想定しています。ロックがかかった場合に、主管課へ連絡することなく、セルフサービスでロックを解除し、利用者・運営者の負担の軽減ができる方法をご提案ください。

No.	資料名	章・項目名	頁番号	質問内容	回答
23	仕様書別紙5-2_機能要件 (運営者向け)	1.1.12.	5	利用実績登録について、利用実績における「使用不可時間」の定義をご教示ください。	キャンセルをせずに使用をしなかった場合、もしくは1.1.13.に例示している状況により使用できなかった時間を想定しています。
24	仕様書別紙5-2_機能要件 (運営者向け)	4.4.3.	7	備品登録について、備品管理における「季節ごとに利用する時間を個別に管理する」の具体例をご教示ください。	夜間照明を4月～10月は18時以降、11月～3月は17時以降と設定する等の管理を想定しています。
25	仕様書別紙5-2_機能要件 (運営者向け)	5.3.6.	8	口座振替通知書について、【別紙6】帳票要件に「口座振替通知書は使用していないため廃止」とあるため、本要件への対応は不要の認識でよろしいでしょうか。	ご認識のとおりです。
26	【別紙6】帳票要件	No.9	2	団体毎利用明細について、「利用団体単位で科目毎の調定額を集計する」とありますが、科目の具体例をご教示ください。	現行システムでは予約内容を練習、大会等で科目コードを設定して管理しています。次期システムでも同様に予約内容の管理を行う場合は、予約内容ごとの調定額を集計した利用明細の出力を求めます。
27	(様式6) 「業務実施方針及び手法」	(3) 実施方針の妥当性 ”収納・還付管理” (a) 電気料の収納・還付管理の実現方法について	-	仕様書別紙5-2_機能要件（運営者向け）P.8（5.2.）還付状況管理や【別紙2】新業務一覧項番4（予約管理）では要件に求められているものの、【別紙8】新業務フローの中では電気料の還付についてはフローの記載がなく、「電気料の過納金が発生した場合は、次回以降の請求金額から過納分を減免する」「電気料が減額になる場合→還付処理ができないため、次回以降の請求時に当該金額を減免。」と記載があり、矛盾しております。還付対象は電気料（納付書による後払い）が減免対象になった場合の料金と推察しておりますが、この料金の取り扱いについて整理をお願い致します。	現行の取り扱いと同様に、電気料金の還付はシステムでは管理をせずに、過納となった場合は、次回以降の請求金額から相殺する取り扱いとします。